

ガスを止める機能で安心 LPガスメーター

大きな地震が起きた時に「ガスを止めなくちゃ」と慌てる人は多いかもしれないが、震度5相当の地震の時は、ガスメーターが自動的にガスを止めてくれるので安心だ。LPガスメーターは、昭和六十二年からマイコンによる地震時の遮断機能が搭載されているのだという。私たちの暮らしを守るために、ガスの使用量を正確に測るだけでなく、ガスメーターは、安全面でも様々な進化をしている。

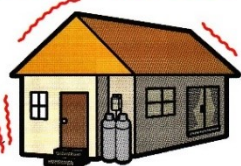
日本は世界でも有数の地震国なので、さまざまな面で地震対策は他国より進んでいるのだが、中でも、震度5以上の地震などで揺れを感じた時に、ガスメーターがガスを遮断してくれることで、火災など大きな被害にならなくて済んだというケースが多い。

このように内蔵されたマイコンでLPガスを遮断する機能は、今

から三十七年前の昭和六十二年（一九八七年）から導入されているというから驚きだ。

また、LPガスメーターは、ガスのホースが外れた場合などで、大量のガスが流れた時や、ガストーブなどを消し忘れて長い時間ガスを使用した時にガスを遮断する機能を備えているのだという。加えて、現在販売されているガ

こんなとき
大きな揺れを感じたとき



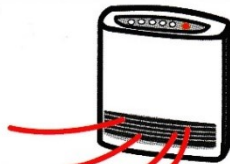
※地震など(震度5相当以上)

こんなとき
大量のガスが流れたとき



※ホースが外れてしまったときなど

こんなとき
長い時間ガスを使用したとき



※ガス器具の消し忘れなど

スコンロは、Siセンサーが搭載されているので、消し忘れや吹きこぼれなどにガスを止める安全機能があり、さらに安心だ。

ガスメーターが危険をキャッチしてガスを遮断した場合のガスメーターの復帰の手順については、次の通りとのこと。

①ガス機器のスイッチを切って、使っていない元栓が閉まっているか確認する

②ガスメーターの黒い復帰ボタンを約一秒押し、手を離した際に「ガス止」の文字が消えたのを確認する

③文字とランプが点滅するので約一分待つ

④文字とランプの点滅が消えるとガスが使用できる

復帰の手順については、インターネットでも閲覧できるので参考にしてほしい。

LPガスのスマートメーターの便利な使い方

LPガスメーターへの「スマートメーター」機能の追加は、一九八八年と、かなり早い時期からで、現在、ほぼすべてのガスメーター

に「スマートメーター」機能が搭載され、うち四割が「スマートメーター」として活用されている。

「スマートメーター」は、ガスの保安情報や使用量を常時、通信で集中監視センタースタに送信している。LPガス容器の交換配送を合理化することができるので環境にやさしい。また、必要に応じてガスの開栓や停止を遠隔操作できるのが利点だという。

「出かけた際にガス機器を止めたか、どうか不安になった時は、利用者が集中監視センタースタに電話して、自宅のガスを止めることも可能なので万が一の時に覚えておくといいでしよう」と一般社団法人日本エルピーガス供給機器工業会榎本正徳専務理事はアドバイスする。

確かに、外出先でガス機器を止めたかどうか心配で落ち着かないことはあるだろう。この方法を知っていることだけでも不安が解消されそうだ。

ガスメーターは、正しくガスの量を測るだけでなく様々な安全、便利な機能で生活に貢献していることを知ってほしい。